Design Wave MAGAZINE

デザイン ウェーブ マガジン

2006 December

CONTENTS

2006
December
Design Wave MAGAZINE

CONTENTS

今月の表紙　Wilhelm RöntgenのX線チューブ



1895年，ドイツ人物理学者のWilhelm Röntgen(1845年～1923年)は，クルックス管を使用した陰極放射線の実験中に，机上にあった(蛍光結晶の)シアン化白金バリウムの板が発光していることに気づいた．この蛍光現象はルックス管を覆っても変わりがなく，未知なる放射線であったためX線と命名した．さらに写真材料を使用した実験では，X線写真の撮影にも成功した．医学はもとよりあらゆる分野で応用され人類に恩恵をもたらす大発見であったが，彼は個人の利益を一切望まず，特許も取得しなかった．1901年には第1回ノーベル物理学賞を受賞したが，その賞金さえも寄贈した．ウィップル歴史科学博物館所蔵．

編集	山形孝雄/西野直樹/谷 智美/平岡志磨子/野村英樹/山本ふじ代
広告	松元道隆/藤原悌子
Art Direction&Design	クニメディア(株)
	坂本充宏/坪田卓洋/町田大介/菊池篤賜/青柳亜希子
本文イラスト	佐藤デザインルーム 佐藤 重/鎌田 聡/神崎真理子
表紙デザイン	AD (株)グラムシ/田中智康/菊地博則
	PHOTO　©Whipple Museum of the History of Science/WPS

デバイスの記事(集積回路，電子部品など)
ボードの記事(PCB，実装技術，ノイズなど)
システムの記事(組み込み機器，ソフトウェアなど)
ビギナーズ向けの記事

講座「続・実設計に応用できる演算回路スキルを身につけよう」，「Verification Methodology Manual(VMM)活用テクニック」，「システムLSI検証技術入門」はお休みさせていただきます．